

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

日 時：平成23年9月15日(木) 18時00分 ～ 20時00分

場 所：M&D タワー2階 共用講義室2

【第1部】

1. 講 師 京都大学 生命科学系キャリアパス形成ユニット
放射線腫瘍生物学 講師 原田 浩 先生

2. 演 題 HIF-1 イメージングによる
がんの放射線抵抗性機構の解析

3. 内 容

HIF-1(hypoxia-inducible factor-1)は、がん細胞の低酸素環境への適応(解糖系の亢進)、低酸素環境からの逃避(転移・浸潤能の亢進)、酸素供給の改善(血管新生の誘導)において重要な役割を果たす転写因子である。近年、HIF-1 活性の高いがんは、放射線治療後の再発率が高いという臨床研究の結果が報告され、HIF-1 の新たな一面が見え始めてきた。本講義では、移植腫瘍内 HIF-1 活性のイメージング研究で明らかになってきた『がん細胞の巧妙な放射線抵抗性・再発メカニズム』に関し、最新のデータを交えて紹介したい。

【第2部】

1. 講 師 放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター
プログラムリーダー 佐賀 恒夫 先生

2. 演 題 腫瘍の PET 分子イメージング

3. 内 容

ポジトロン断層法(PET)を中心とする分子イメージングの手法は、がん細胞が獲得した様々な性質を可視化・定量評価でき、がん患者の診療に重要な情報を与えると期待される。本講義では、細胞増殖や腫瘍内低酸素を評価する PET 分子プローブを中心に、PET 分子イメージングの臨床応用の現状について述べるとともに、今後の臨床応用が期待される新規プローブの開発状況について、我々の施設での研究成果を中心に解説する。

【第3部】

ディスカッション

連絡先 口腔放射線腫瘍学分野 三浦 雅彦(内線 5897)